

## 抗がん剤治療を受けている患者さんとご家族に

### 気を付けていただきたいこと

抗がん剤は、がん細胞が増えないように働きかけますが、正常な細胞にも影響を与えることが知られており、投与された患者さんの尿や便などの排泄物から検出されることがあります。このような理由からご家族にご注意いただきたいことがあります。排泄物に関して気を付けていただく期間は、抗がん剤投与開始～抗がん剤投与終了後2-7日間(薬剤によって異なります)を目安としてください。

#### トイレの使用

- 男性患者さんは尿の飛び散りを防ぐため洋式トイレに座って排尿してください。
- トイレの使用後は蓋をして、2回水を流してください。
- 尿や便がこぼれた場合は多めのトイレットペーパーできれいに拭いてトイレに流してください。
- 排泄後は手洗いをしっかりしてください。



#### 排泄物や吐物の取り扱い

- ストーマ用品はワンピースタイプのもを使用し、再利用はしないでください。
- 使用済みのストーマ用品やおむつはビニール袋に入れ、口をしっかり閉じて一般ごみに廃棄します。介助者が行う場合は使い捨ての手袋を使用し、排泄物に直接触れないように注意します。患者さん、ご家族とも廃棄後は石鹸を使用し十分に手洗いをしてください。吐物の処理の場合も同様に処理してください。

#### 排泄物や吐物で汚れたリネン類の取り扱い

- 汚れたリネン類に触れる際は、使い捨ての手袋を使用してください。
- 排泄物や吐物で汚れたリネン類は、他の洗濯ものとは分けてください。また、汚れたリネン類は2度洗いをしましょう。通常量の汗は問題ありませんが、大量の汗をかいた場合は同様に他の洗濯ものとは分けて洗濯をしてください。
- すぐに洗濯できない時は、汚れたリネン類をビニール袋に入れて、口をしっかり閉じておきましょう。
- 取り扱い後は石鹸を使用し十分に手洗いをしてください。



排泄物に触れたとしてもすぐに健康を害することは基本的にはありませんが、念のためにできる限り行ってください。正しい対策を行えば危険ではありません。小さなお子様やペットと同居されている方はできる限り対策を行う方がいいでしょう。ご家族と触れ合うことは特に問題はありません。心配な場合は汗を拭く、手洗いをきちんとするなど、清潔を心掛けてください。